



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

今年も餅つきで締めくくり、お正月の準備もふじやまで！

今年も早、暮れようとしています。一年を振り返ってみると、いろいろなことがありました。それぞれの想いは違うでしょうが、日々を元気に過ごせたことに安堵し、感謝する季節がやってきました。公園の散策路の落ち葉をサクサクと踏みしめる足音とともに、公園でお正月の準備が始まります。

12月18日(日) 古民家前庭に設えた餅つき会場では、ついた



お餅を2色にして来園者に販売します。2色といっても紅白ではなく、餡ときな粉。テントでは、ふじやまの竹で作った器に可愛い飾りをアレンジするミニ正月飾りを作ることができます。加えて、まゆ玉飾りなどのおしゃれな飾りは、玄関や机に置いて、お正月の雰囲気をお楽しみください。

また、来年の干支「酉」の版画を数種類用意します。

- | | |
|----------------------------------|------------|
| ●日時：12月18日(日) 10時～12時 受付は9時45分から | |
| ◆つきたて二色餅 200円 (先着150名) | |
| ◆ミニ正月飾り 300円 (先着30名) | |
| ◆まゆ玉飾り 100円 (先着30名) | ◆賀状版画刷り 無料 |



今年はふじやま公園の柿の木が、さっぱり実をつけない。公園の秋の風物詩の一つである古民家主屋の軒下を彩る干し柿がたぶん見られないだろう。よその柿を持ってきてまで作ることはないからだ。柿はなり年があり、2年か3年に一度はならない年があるという。柿農家はそれでは商売にならないから毎年実をつける工夫をするとか。さて、交代に休むか、毎年実をつけさせられるか、どちらが柿にとって楽なのだろう。人間は、歳をとってくると一度休む癖をつけるتماずいのでは、と毎年なり年を目指して頑張っているのだが…と、考える時期になってきた。

＝写真はず年のもの＝

◆秋の夜長、古民家で幽玄の世界

当園で6回目となる能舞・能管コンサートが10月16日開催されました。“灯火の回廊”竹林と行燈を設えた公園の前庭を能笛奏者のゆっ

たりと流れるような笛の音で能舞・能管コンサートが始まり、演目の間には分かりやすく作品の解説や、能面の作られた由来など、また「天下人」秀吉が没63才までお能に励み愛してやまなかったお話など伺うことができました。



◆ふじやま農園収穫祭

11月12日(土)に開催された収穫祭には、タッチー君が初参加。子供たちの人気を独り占めしていました。また、今年特に注目すべ

きは、収穫祭が終わると壊されていた焼き芋釜が、セメントと耐火煉瓦で本格的に設置されたこと。「これで10年はおいしい焼き芋が焼ける。」と、週2回の作業日以外にも残業の連続で製作にあたったスタッフ



した。

◆区民まつりに出展しました！

本郷中学校で11月5日(土)に開催された第17回栄区民まつりに、ふじやま公園は今年も出展しました。公園の魅力を知ってもらうため恒例の鶯笛やべえべえ笛作りの実演や竹とんぼの配布を行ったのをはじめ、イベント予告のチラシなどを配りました。テント内は、笛を作ったり、吹いたりする子どもたちで大賑わいでした。



昔の道具 行火(あんか)

現代の暖房器具は電気・ガス・石油を熱源としていますが、かつては薪・炭を用いる囲炉裏・火鉢・行火が用いられていました。特に移動可能で足など下半身を対象とした暖房具として行火は重宝されました。

行火(または按火)は、上部が丸く、三方に穴があり、もう一方は「火容れ」の出し入れが出来る四角の瓦土製の器です。中にある「火容れ」は土製の円形または角形の容器があり炭や燐を入れました。ふとんを掛けて暖をとりました。行火の「行」は「持ち歩き出来る」という意味です。手足の暖をとる移動式の火炉で地火炉(例えば囲炉裏や掘り炬燵)に対する言葉です。室町時代に使い始められ、江戸時代中期に広がり、明治大正



時代に一般化しました。



ナンバンギセル ハマウツボ科

ススキやミョウガ、サトウキビなどの根元に寄生して、その根の養分をとっている一年草。北海道から沖縄まで分布。葉緑素がなく秋になると紫紅色の花を咲かせる。その先端が首をかしげて物思いにふける様子から万葉集では「尾花」(ススキ)と一緒に「思い草」と詠んでいる。漢字では「南蛮煙管」と書き、南蛮から渡来した煙管の雁首に花の形が似ていることが名の由来。



《小学生が『秋みつけ』で来園》

ふじやま公園の今年の秋は、近隣の小学校から1年生が『秋みつけ』の授業で来園しました。季節の変化を葉の色、木の実や虫の動きで実感し、自然に親しみ遊ぶことが目標のようです。ドングリを拾ったり、バッタを捕まえたり、ナツメの実を集めたりしていました。小学生の元気な声に、前庭のカマキリもびっくりしたことでしょう。



ふじやま公園が子どもたちの身近な自然として役立つことは嬉しいことです。

『いろり辺雑記』から(原文のまま)

栄区の桂台に住んでいますが、近くにこのような古民家があったとは知りませんでした。とても落ち着いた雰囲気です。静かな気分になれて日々の忙しさから解放された気持ちになりました。

また、休日に家族で何おうかと思いました。(市内 30代 家族で)



平成28年12月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	2日(金)	古民家歴史部会 部会	11日(日)
農芸部会 部会	19日(月)	古文書解読勉強会	4日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	7日(水)
里山部会 作業	10日(土) 17日(土)	クリーンアップ	6日(火) 20日(火)
	25日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	14日(水)	ふじやまだより編集会議	4日(日)
子ども工作準備	適時	印刷	10日(月)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	11月29日(火)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
初心者茶道 体験教室	12月17日(土)13時～16時	四季を感じながらおもてなしの心を学びましょう	500円	11月30日(水) 5名
子ども工作	12月18日(日)10時～11時 〃 13時～14時	クラフトテープでコマ作り (小学生)	無料	当日先着順 各10名
フラワー アレンジメント	12月20日(火)13時30分～ 15時30分	プリザとフェイクフラワーで正 月花を作成	2,000円	12月12日(月) 8名
押し絵(全2回)	1月18日(水)13時～16時 1月25日(水) 〃	節分行事の「鬼はそと！」	1,500円	12月26日(月) 12名
創作人形 (猫シリーズⅢ) (全3回)	1月19日(木)13時～16時 2月16日(木) 〃 3月16日(木) 〃	粘土で手のひらサイズのま ねき猫	800円	1月7日(土) 10名
里山の そば打ち塾	1月28日(土)10時～12時	手打ちそばの基本を学び美 味しいそばを打ち、試食	800円	1月12日(木) 10名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★公園の落葉を集めて腐葉土を作ろう

公園内のクヌギ、ケヤキ、ナラなどの広葉樹の落ち葉を集め、
約1年かけて出来上がった腐葉土は、参加された方に差上げます。

日 時：1月14日(土)10時～11時半 雨天の場合は翌15日。

集合場所：長屋門

定 員：15名 小学生以下は保護者同伴、作業しやすい服装で。応募者多数の場合は抽選。

申 込 み：往復ハガキで、 締 切：1月6日(金)



★栄区制30周年記念事業 本郷ふじやま公園散策路を巡るポイントラリー

秋の里山を巡りながら栄区をもっと知ろう(クイズ)

日 時：12月4日(日)10時～12時 受付開始：9時30分 雨天中止

場 所：古民家からふじやま頂上を巡る散策路

賞 品：クイズの正答率により賞品進呈 全員に参加賞と餅入りぜんざいを差上げます

定 員：100名(三歳児以上) 家族・グループでの申込み可

申 込 み：往復ハガキで 締 切：11月21日(月)

★10月ふじやま公園来園者数 10月度来園者数 2,588名 28年度累計 12,080名

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・開 館 時 間： 9時～17時 ・入 館 料： 無 料 ・休 館 日： 毎月第1水曜日(12月7日) ・ク リ ー ン ア ッ プ： 毎月第1・3火曜日 10時～11時(12月6日、20日) |
|---|